

金田雅律氏旭日小綬章受章祝賀会

令和6年春の叙勲に際して旭日小綬章を受章した㈱マスキチ代表取締役社長（元・全油販連会長）金田雅律氏の受章祝賀会が、令和6年11月21日（木）、ホテルオークラ東京で開催された。祝賀会は、全油販連 館野洋一郎会長・宇田川公喜副会長・島田豪副会長・木村顕治副会長・佐橋徳洋副会長、東京西ロータリークラブ 高野順会長・品川博美副会長・武田健三副会長の8人が発起人となり、約130名が参集し金田氏を祝福した。

最初に全油販連の館野会長が「今回の旭日小綬章は国や公共に大変な貢献をされたということでの受章。私どもの団体は昨年70周年を迎え、また東京油問屋市場は124年を数え、100年以上の会社同士のお付き合いとなっており、業界を挙げて今回の受章を嬉しく思っている。㈱マスキチさんは文化元年、1804年に創業し、今年で220年と大変長い間、発展を遂げてこられた。元々は油問屋・両替商として創業され、金田社長で6代目となる。社長に就任されてからは、事業の幅を広げ、創業の精神である『信用信頼第一』を大事に事業の発展に努めてこられた。全油販連の会長職も2期4年間務め、特に東日本大震災の際には、油脂の売り惜しみが無いように、業界としてきちんとした対応を取り、被災されたメーカーにお見舞金を出す取組を、強いリーダーシップでまとめてくれた。このようなことを含めて、油脂業界の発展に多大な貢献をしたという功績が、今回の旭日小綬章に繋がったものと承知している。油脂業界の発展に多大な貢献をされた」と発起人挨拶を行なった。続いて、東京西ロータリークラブ高野会長の発起人挨拶の後、㈱J-オイルミルズ 上垣内猛取締役専務執行役員COOが、「長きに渡り油脂業界の発展に心血を注がれた金田社長の受章は、業界関係者にとっても大きな喜びである。問屋としての使命を長く継続された歴史に敬意を示したい。今後も我々油脂メーカーの重要な販売店として、また、一層の油脂業界の発展のため、引き続き御尽力いただきたい」と祝辞を述べた。乾杯は竹本油脂 ㈱竹本信二郎取締役専務執行役員が行い、「金田社長の旭日小綬章の受章は油脂業界にとって大変な誉れである。220年もの一次店としての地位がある中、業務店・個店へ配送も丁寧に行なってもらっており、深く感謝している」と述べ、祝宴に移った。

歓談中は御夫妻で各テーブルを回り、御礼を述べるなど和やかに進行した。その後、御子息の㈱マスキチ取締役 金田太郎夫妻が金田雅律夫妻にお祝いの花束を贈呈。これを受け、金田雅律氏から、「長年、油脂業界のために安定供給と油の価値を高めるために努めてきた。高めるというのは、そのお店に合った良い商品を届けるという

ことを説明しながら理解してもらおうこと、価格だけがお客様のためになるわけではないと考えている。お届けしたお店が良い油で美味しい料理を出せば、その店は繁盛し、お客さまも美味しいとなる。そして、たくさん売れば、我々問屋も幸せになり、油を作っていただいているメーカーも幸せになれる。これにより皆がハッピーになれるので、私は『ハッピーサークル』と言って、長年取り組んできた。こうしたことが評価されたのかもしれないが、これもひとえに皆様方の御指導・御鞭撻の賜物と思っており、改めて感謝申し上げます」と謝辞を述べた。閉会にあたり、全油販連の島田副会長が挨拶をし、参加者全員で油メが行われた。



(©油業報知新聞社)